

YOUNG BLOOD

「つながろう! 「仲間」と! ともに創ろう明るい未来を!」

JR連合 青年・女性委員会 幹事 弓立 雅博

第9回安全シンポジウム参加

テーマ

「福知山線列車事故から10年より安全・安心なJRグループを目指して」
～安全の取り組みを検証し、今後の安全性向上に活かそう!～

平成27年11月9日(月)「ホテルアソシア静岡」において、第9回安全シンポジウムが開催され、加盟単組から多くの組合員が参集しました。冒頭、JR福知山線列車事故をはじめ、鉄道事故で犠牲になられた方々のご冥福と負傷された方々の1日でも早い回復を祈念し、参加者全員で黙祷を捧げ、安全確立へ決意を新たにしました。

主催者を代表して松岡会長から「この間、重大事故を発生させたことの反省と教訓を胸に刻み、各加盟単組とともに、安全確立を再重要課題と位置づけ取り組みを展開してきた。事故を決して忘れることなく、悲しみを二度と繰り返さない、安全最優先の風土作りに向けて、改めて決意を固めようではないか」と力強い挨拶があり、このシンポジウムを契機とした、更なる運動の実践を要請されました。

第1部は、JR連合吉田組織部長より「JR連合の安全に関する取り組み経過と今後の方向性」が問題提起されました。福知山線列車事故以降の継続的な安全対策委員会の開催や「安全指針」「重大労災防止の行動指針」の策定と浸透等、安全性向上に向けた取り組みなどを提起されました。



第2部では、公益財団法人労働科学研究所の酒井所長よりご講演を賜り、鉄道産業の安全の仕組み、会社組織の枠を超えた安全管理体制のあり方が提起され、安全文化の構築の必要性が示され、青年・女性委員会としても、今後しっかりと安全文化を構築していくことを決意しました。

第3部では、酒井所長のコーディネートでパネルディスカッションが行われ「更なるJRグループの安全性向上にむけて」をテーマに熱い議論が展開されました。パネリストにはJEC連合のADEKA労働組合笠井中央執行委員長、JR連合吉田組織部長、JR東海ユニオン半田交渉部長、JR西労組羽野業務部長、グループ労組から西日本電気テック労組山部書記長が参加し、各単組の取り組み事例などについて討議されました。



私たち青年・女性委員会も、安全最優先の職場風土を作り上げるべく、青年女性役員研修会や幹事学習会など様々な活動を通じてより見識を深め、安全で快適な鉄道産業の構築に取り組んでいきます。

※第9回安全シンポジウムの開催内容は、JR連合の機関誌第507号にも掲載されています。

